

カラカラと枯葉舞うなか雪虫(※)が飛び交い、いよいよ冬の到来。

一年の締めくくりである12月の村長室は、令和4年という年を少し振り返ってみることにします。

この一年もコロナで始まりコロナで終わる年となりそうですが、重症になる確率が低いものの感染力の強いオミクロン株に変異しての流行となりました。ワクチン接種も1月に3回目、7月に4回目、そして11月から12月にかけて5回目の接種、と皆さんには大きな負担をかけながらもワクチン接種の重要性をよく理解していただき、他の市町村に比べて高い接種率で感染防止に努めていただいております。

経済情勢は、ウッドショックや長雨の影響もあり、村内産業にとっては厳しい一年間でした。村では国の臨時交付金を活用した商品券配布事業や茶業・稲作など疲弊してきた地域産業への対策など切れ目の無い支援を実施してまいりました。最近ではコロナ禍だけでなく、不安定な国際情勢を背景にサプライチェーンがぜい弱となり円安背景もあって、燃料費高騰、生活資材や食料品の高騰など庶民の暮らしを直撃してきている現実がありますので、引き続き様々な支援策を実施してまいります。

そんな中でも、「つちのこフェスタ」は止む無く中止としましたが、8月の商工会青年部の皆さんによる「東白川夏まつり」、9月の「第46回郷土歌舞伎公演」、11月の「文化祭」、「秋フェスタ」、「二十歳を祝う会」など、規模縮小ながら開催することができました。年の納めのイベントは12月18日の「お松様祭り」です。一年間の無事を感謝し穏やかな越年を祈願する行事に御参加をお願いします。

最後に令和4年は、4月の村長選挙で無投票当選という栄誉をいただき、新たな気持ちで村政に臨んだ年です。引き続き、厳しい社会経済情勢の中で村の前途を見誤ることなく、村政を進めてまいりたいと気を引き締めております。

コロナウイルス感染症は経済活動や行動制限の緩和された影響から全国的に感染拡大の傾向にあり、岐阜県では「岐阜県医療ひっぱく警戒宣言」を発出しております。今後、インフルエンザとの同時流行の心配もありますので、感染防止行動と健康管理には十分な注意をいただくようお願いします。

今年一年間の皆様の村政に対する御理解と御協力に心から感謝申し上げ、来る新年が皆様にとって輝く年になりますことを願いつつ年末年始を迎えたいと思います。

令和4年12月

東白川村長 今井俊郎

※ 雪虫(ユキムシ)…東白川では雪蛾(ユキガ)といわれます。初雪を知らせるといわれています。